

## ●インキュベーション施設入居企業対象 ピクトラボ見学会 写真報告



日時 2011年10月28日(金)10:00~11:00

場所 電気通信大学 西11号館(イノベーション研究棟)2F

説明 田野俊一教授 IS研究科・情報メディアシステム学専攻

参加者 マルチポート研究所・矢加部利幸代表, 矢加部研究室学生4名, スマートコミュニケーション・井上勇二氏, プレベンチャーMNU・伊藤氏, IM安部。全8名。

### 1 ピクトラボの概要等

<http://www.pict-lab.uec.ac.jp/about.php> を参照ください。

### 2 ピクトラボにかける田野先生の思い

▼これまでは実社会(金融・証券等)が情報システムを要求し、エンジニアが応えていた。しかし、グーグルやアマゾンらは新しい概念の情報システムによって社会を変革している。教育も、実用的な技術習得を踏まえながらも、新情報システムを企画・設計できるイノベティブな次情報システム人材の育成が必要。そこでピクトラボを創設した。

▼そのための2つの仕掛け。第一は、修士以上の学生が24時間自由に使えるものづくり環境の提供する<高度 ICT 試作実験室>。第二は、学生が試作成果を実社会に向けて公開し、フィードバックを得ることによってイノベーションの動機づけを行う<公開プラットフォーム>。

▼学内のロボメカ工房は学生が熱中している。同様の環境を情報系の学生に提供する。

▼アメリカでコンピュータを学ぶ学生は、地道に作るだけではアジア・インドに勝てないという意識からデザイン(企画・設計)にシフトしている。イノベーションは、企画・設計の段階が勝負。

▼ピクトラボのモデルはフィンランドのアールト大学。工科大学・経済大学・芸術デザイン大学の3つが合併して2010年設立された大学。学内にピクトラボのような施設がある。

### 3 使用方法

近日中に開催されるピクトラボ運営委員会で決定される。

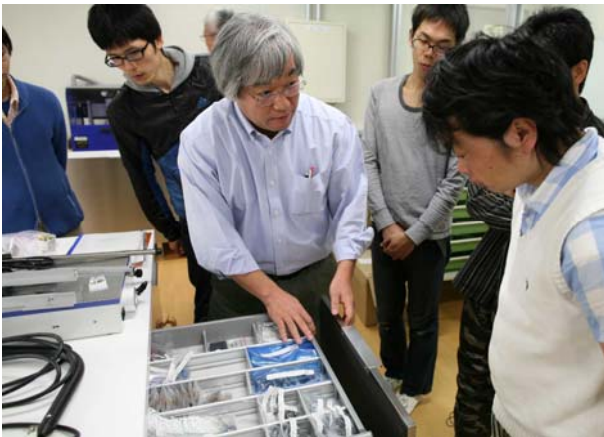
まず20人程度の院生に機器類の使用法・清掃管理法などを習得してもらい、マニュアル化する。その上で、ピクトラボで設計・試作を希望する学生を募集。

インキュなど企業向けには有料で使用できるようにする予定。

#### 4 写真



▲ 田野先生(右手前)によるピクトラボの全体概要の解説。



▲ ものづくりの場「キッチン」の説明。



▲ 展示などに使う「プレイルーム」の説明。



▲ 田野先生と見学者の集合写真。